

当月も道北地域の景気の基調判断を据え置きました

皆さん、いつもこのサイトをご覧いただき、ありがとうございます。

さて、9月10日に公表しました「[金融経済概況（道北地域）](#)」では、道北地域の景気の基調判断を「低迷している」として、前月までの表現を据え置きました。本年7月公表分からこの表現を採用していますので、3カ月連続となります。ただ、これまでも述べてきましたように、どんどん悪くなっているという訳ではなく、厳しい状況の中でも、悪化のペースは緩やかになっています。

同じく9月10日に札幌支店から公表しました道内の金融経済概況では、「低迷しているものの、持ち直しの動きもみられる」として、道内景気の基調判断を若干上方修正しました。道北地域においても、家電販売等ごく一部に政策効果と思われるプラス材料はありますが、地域経済全体に影響するような「持ち直しの動き」は、残念ながら未だ確認できませんでした。今後明らかになる各種経済指標、ミクロ・ヒアリング情報、来月1日に公表される9月調査の短観結果も踏まえ、基調判断を変更する必要があるかどうか見極めていきたいと思えます。

平成 21 年 9 月 10 日  
尾家 啓之